

平成26年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	3. 職員厚生事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	2. 人事管理費	担当所属	総務課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	実施計画	5年間計画額		
経常	単独	通常	21,137	491			平成23年度	-
							平成24年度	-
							平成25年度	-
							平成26年度	-
							平成27年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	1,417	21,628
本年度当初査定額		

財源内訳	諸収入						一般財源
本年度当初要求額	1,417						20,211
本年度当初査定額							

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・職員の福利厚生に関する事業全般を行います。 ・主な事業としては、職員の健康管理、被服の貸与、千葉県市町村職員共済組合との連携、佐倉市役所職員共済会に関する業務を行います。</p>	<p>(事業の目的) ・職場における職員の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を行います。 ・千葉県市町村職員共済組合及び佐倉市役所職員共済会を通じた福利厚生事業を実施することで、職員の元気回復を図り、職務能率の向上を行います。</p>	<p>(事業の効果) ・職員定期健康診断、安全衛生委員会活動、予防接種、健康相談事業等の実施により、健康保持・健康管理を行います。 ・佐倉市役所職員共済会補助金の交付により、事務費及び事業費の一部を助成し運営の支援を行います。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ストレス社会といわれる中、福利厚生事業の役割が大きくなっている一方、当該経費への公費投入が議論されている。適切な福利厚生事業の実施のために、適宜、事業の見直しを進める必要がある。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 福利厚生事業の内容の充実及び見直しを継続的に図っている。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 健康診断受診率の向上。被服の貸与者数の予測が難しいこと。社会情勢や職員のニーズの変化に伴い、福利厚生事業の見直しが必要であること。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
01	960	960	0
08	120	120	0
09	128	167	△39
11	2,414	2,573	△159
12	13	13	0
13	11,195	10,104	1,091
19	6,798	7,200	△402

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	20	05	04	01	10	01	職員健康診断助成金	1,160		516	644
	20	05	04	01	13	04	代用審査手数料	6		6	0
	20	05	04	01	13	18	職員健康診断負担金	251		154	97
差引一般財源								20,211		20,461	△250